

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成25年3月26日

**【四半期会計期間】** 第20期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

**【会社名】** 株式会社 シード

**【英訳名】** SEED CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 岡 橋 成 泰

**【本店の所在の場所】** 京都市山科区榎辻中在家町8番地1

**【電話番号】** (075) 595 - 1311 (代)

**【事務連絡者氏名】** 管理部グループ長 七 海 不 二 男

**【最寄りの連絡場所】** 京都市山科区榎辻中在家町8番地1

**【電話番号】** (075) 595 - 1311 (代)

**【事務連絡者氏名】** 管理部グループ長 七 海 不 二 男

**【縦覧に供する場所】** 株式会社 大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、平成25年3月26日付で、株式会社三栄建築設計との間で資本業務提携契約を締結いたしました。これに伴い当社は、同社の連結子会社になる予定です。そこで、これを契機に、同社グループにおける会計処理の方針との整合性等を勘案し、当社の会計処理を検討いたしました。

その結果、平成24年8月10日に提出いたしました第20期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）四半期報告書の記載内容のうち、不動産に係るリース取引の判定に当たって、当該判定ルールを株式会社三栄建築設計のグループ方針に合わせるとともに、税効果会計の四半期における会計処理について見直すべき事項がありましたので、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### （1）経営成績の分析

###### （2）財政状態の分析

#### 第4 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

###### （1）四半期連結貸借対照表

###### （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

##### 注記事項

###### （四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

###### （セグメント情報等）

###### （1株当たり情報）

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第19期 第1四半期 連結累計期間	第20期 第1四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	1,712,947	849,135	4,962,119
経常損失( ) (千円)	<u>86,620</u>	<u>44,124</u>	<u>131,065</u>
四半期(当期)純損失( ) (千円)	<u>45,961</u>	<u>32,250</u>	<u>116,987</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	<u>45,961</u>	<u>32,250</u>	<u>116,987</u>
純資産額 (千円)	698,775	595,499	627,750
総資産額 (千円)	3,252,960	2,999,279	3,177,174
1株当たり四半期(当期) 純損失金額( ) (円)	<u>4,038</u>	<u>2,833</u>	<u>10,280</u>
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	21.4	19.8	19.7

~ 注略 ~

(訂正後)

回次	第19期 第1四半期 連結累計期間	第20期 第1四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	1,712,947	849,135	4,962,119
経常損失( ) (千円)	<u>86,657</u>	<u>44,126</u>	<u>131,161</u>
四半期(当期)純損失( ) (千円)	<u>74,662</u>	<u>40,803</u>	<u>117,082</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	<u>74,662</u>	<u>40,803</u>	<u>117,082</u>
純資産額 (千円)	620,981	537,758	578,561
総資産額 (千円)	3,379,099	3,139,179	3,327,214
1株当たり四半期(当期) 純損失金額( ) (円)	<u>6,560</u>	<u>3,585</u>	<u>10,288</u>
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	18.4	17.1	17.4

~ 注略 ~

## 第2 【事業の状況】

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

(訂正前)

～前略～

このような状況のもとで、業績につきましては売上高は849,135千円（前年同四半期は1,712,947千円）、利益面については営業損失38,758千円（前年同四半期は79,257千円）、経常損失44,124千円（前年同四半期は86,620千円）、四半期純損失32,250千円（前年同四半期は45,961千円）となりました。

～中略～

（不動産賃貸管理事業）

不動産賃貸管理事業につきましては売上高225,655千円（前年同四半期は224,700千円）、セグメント利益21,206千円（前年同四半期は19,405千円）となりました。

(訂正後)

～前略～

このような状況のもとで、業績につきましては売上高は849,135千円（前年同四半期は1,712,947千円）、利益面については営業損失37,577千円（前年同四半期は78,076千円）、経常損失44,126千円（前年同四半期は86,657千円）、四半期純損失40,803千円（前年同四半期は74,662千円）となりました。

～中略～

（不動産賃貸管理事業）

不動産賃貸管理事業につきましては売上高225,655千円（前年同四半期は224,700千円）、セグメント利益22,387千円（前年同四半期は20,585千円）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (訂正前)

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.8%減少し、1,066,376千円となりました。これは、未成工事支出金が116,204千円増加しましたが、現金及び預金が248,234千円及び受取手形が21,486千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、1,932,902千円となりました。これは、有形固定資産が25,132千円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.5%減少し、2,999,279千円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.9%減少し、1,292,271千円となりました。これは、未成工事受入金が91,902千円増加しましたが、工事未払金が141,925千円、短期借入金が15,000千円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.4%減少し、1,111,507千円となりました。これは、長期借入金が56,298千円、繰延税金負債が3,507千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.7%減少し、2,403,779千円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.1%減少し、595,499千円となりました。これは、利益剰余金が32,250千円減少したことによります。

### (訂正後)

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.6%減少し、1,057,825千円となりました。これは、未成工事支出金が116,204千円増加しましたが、現金及び預金が248,234千円及び受取手形が21,486千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、2,081,354千円となりました。これは、有形固定資産が26,720千円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.7%減少し、3,139,179千円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.9%減少し、1,298,705千円となりました。これは、未成工事受入金が91,902千円増加しましたが、工事未払金が141,925千円、短期借入金が15,000千円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.8%減少し、1,302,716千円となりました。これは、長期借入金が56,298千円、繰延税金負債が3,507千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.4%減少し、2,601,421千円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7.1%減少し、537,758千円となりました。これは、利益剰余金が40,803千円減少したことによります。

## 第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】  
(1) 【四半期連結貸借対照表】  
(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	785,545	537,310
受取手形・完成工事未収入金等	292,679	256,584
販売用不動産	50,000	50,000
未成工事支出金	34,825	151,029
仕掛販売用不動産	19,121	19,121
繰延税金資産	4,266	<u>12,915</u>
その他	39,380	40,966
貸倒引当金	1,737	1,552
流動資産合計	<u>1,224,082</u>	<u>1,066,376</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,401,635	1,376,916
その他(純額)	4,407	3,993
土地	333,355	333,355
有形固定資産合計	<u>1,739,398</u>	<u>1,714,265</u>
無形固定資産	12,954	12,629
投資その他の資産		
その他	210,271	215,540
貸倒引当金	9,532	9,532
投資その他の資産合計	200,739	206,008
固定資産合計	<u>1,953,092</u>	<u>1,932,902</u>
資産合計	<u>3,177,174</u>	<u>2,999,279</u>
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	456,336	317,860
短期借入金	345,000	330,000
1年内返済予定の長期借入金	245,192	235,192
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	1,428	655
未成工事受入金	170,103	262,006
賞与引当金	6,257	4,155
完成工事補償引当金	12,133	11,320
工事損失引当金	7,230	2,750
その他	<u>80,769</u>	<u>78,330</u>
流動負債合計	<u>1,374,453</u>	<u>1,292,271</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>固定負債</b>		
社債	100,000	100,000
長期借入金	479,908	423,610
退職給付引当金	29,057	28,194
預り保証金	396,398	393,687
資産除去債務	101,375	101,885
その他	68,231	64,131
固定負債合計	<u>1,174,971</u>	<u>1,111,507</u>
<b>負債合計</b>	<u>2,549,424</u>	<u>2,403,779</u>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	260,782	260,782
資本剰余金	226,282	226,282
利益剰余金	175,646	143,395
自己株式	34,960	34,960
株主資本合計	<u>627,750</u>	<u>595,499</u>
<b>純資産合計</b>	<u>627,750</u>	<u>595,499</u>
<b>負債純資産合計</b>	<u>3,177,174</u>	<u>2,999,279</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	785,545	537,310
受取手形・完成工事未収入金等	292,679	256,584
販売用不動産	50,000	50,000
未成工事支出金	34,825	151,029
仕掛販売用不動産	19,121	19,121
繰延税金資産	4,266	4,364
その他	39,380	40,966
貸倒引当金	1,737	1,552
流動資産合計	1,224,082	1,057,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,401,635	1,376,916
その他(純額)	4,407	3,993
土地	333,355	333,355
リース資産(純額)	150,039	148,451
有形固定資産合計	1,889,437	1,862,717
無形固定資産	12,954	12,629
投資その他の資産		
その他	210,271	215,540
貸倒引当金	9,532	9,532
投資その他の資産合計	200,739	206,008
固定資産合計	2,103,132	2,081,354
資産合計	3,327,214	3,139,179
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	456,336	317,860
短期借入金	345,000	330,000
1年内返済予定の長期借入金	245,192	235,192
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
リース債務	4,557	4,593
未払法人税等	1,428	655
未成工事受入金	170,103	262,006
賞与引当金	6,257	4,155
完成工事補償引当金	12,133	11,320
工事損失引当金	7,230	2,750
その他	82,610	80,170
流動負債合計	1,380,850	1,298,705



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>固定負債</b>		
社債	100,000	100,000
長期借入金	479,908	423,610
リース債務	<u>150,488</u>	<u>149,326</u>
退職給付引当金	29,057	28,194
預り保証金	396,398	393,687
資産除去債務	101,375	101,885
その他	<u>110,573</u>	<u>106,013</u>
固定負債合計	<u>1,367,801</u>	<u>1,302,716</u>
<b>負債合計</b>	<u>2,748,652</u>	<u>2,601,421</u>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	260,782	260,782
資本剰余金	226,282	226,282
利益剰余金	<u>126,457</u>	<u>85,654</u>
自己株式	34,960	34,960
株主資本合計	<u>578,561</u>	<u>537,758</u>
<b>純資産合計</b>	<u>578,561</u>	<u>537,758</u>
<b>負債純資産合計</b>	<u>3,327,214</u>	<u>3,139,179</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,712,947	849,135
売上原価	1,658,126	780,627
売上総利益	54,821	68,507
販売費及び一般管理費	134,078	107,266
営業損失( )	79,257	38,758
営業外収益		
受取利息	58	11
受取手数料	402	679
受取保険金	151	-
未払配当除斥益	203	303
その他	355	375
営業外収益合計	1,170	1,370
営業外費用		
支払利息	7,410	5,613
その他	1,123	1,122
営業外費用合計	8,534	6,736
経常損失( )	86,620	44,124
税金等調整前四半期純損失( )	86,620	44,124
法人税、住民税及び事業税	357	297
法人税等還付税額	14,648	-
法人税等調整額	26,367	12,171
法人税等合計	40,659	11,874
少数株主損益調整前四半期純損失( )	45,961	32,250
少数株主利益	-	-
四半期純損失( )	45,961	32,250

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,712,947	849,135
売上原価	1,656,945	779,447
売上総利益	56,002	69,688
販売費及び一般管理費	134,078	107,266
営業損失( )	78,076	37,577
営業外収益		
受取利息	58	11
受取手数料	402	679
受取保険金	151	-
未払配当除斥益	203	303
その他	355	375
営業外収益合計	1,170	1,370
営業外費用		
支払利息	8,627	6,796
その他	1,123	1,122
営業外費用合計	9,751	7,919
経常損失( )	86,657	44,126
税金等調整前四半期純損失( )	86,657	44,126
法人税、住民税及び事業税	357	297
法人税等還付税額	14,648	-
法人税等調整額	2,296	3,619
法人税等合計	11,994	3,322
少数株主損益調整前四半期純損失( )	74,662	40,803
少数株主利益	-	-
四半期純損失( )	74,662	40,803

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	45,961	32,250
四半期包括利益	45,961	32,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,961	32,250
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	74,662	40,803
四半期包括利益	74,662	40,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,662	40,803
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

～前略～

(訂正前)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	28,143千円	25,458千円

(訂正後)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	29,270千円	26,585千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	建設事業	不動産事業	不動産賃貸 管理事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	558,871	929,374	224,700	1,712,947	1,712,947
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	558,871	929,374	224,700	1,712,947	1,712,947
セグメント利益又は損失( )	44,581	9,040	<u>19,405</u>	<u>16,135</u>	<u>16,135</u>

～注略～

(訂正後)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	建設事業	不動産事業	不動産賃貸 管理事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	558,871	929,374	224,700	1,712,947	1,712,947
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	558,871	929,374	224,700	1,712,947	1,712,947
セグメント利益又は損失( )	44,581	9,040	<u>20,585</u>	<u>14,954</u>	<u>14,954</u>

～注略～

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(訂正前)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	16,135
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	63,121
棚卸資産の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業損失( )	79,257

～注略～

(訂正後)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	14,954
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	63,121
棚卸資産の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業損失( )	78,076

～注略～

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	建設事業	不動産事業	不動産賃貸 管理事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	619,598	3,881	225,655	849,135	849,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	619,598	3,881	225,655	849,135	849,135
セグメント利益又は損失( )	11,902	3,881	<u>21,206</u>	<u>13,185</u>	<u>13,185</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	建設事業	不動産事業	不動産賃貸 管理事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	619,598	3,881	225,655	849,135	849,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	619,598	3,881	225,655	849,135	849,135
セグメント利益又は損失( )	11,902	3,881	<u>22,387</u>	<u>14,365</u>	<u>14,365</u>



2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(訂正前)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	13,185
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	51,943
棚卸資産の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業損失( )	38,758

~注略~

(訂正後)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	14,365
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	51,943
棚卸資産の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業損失( )	37,577

~注略~

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(訂正前)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額(円)	4,038	2,833
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	45,961	32,250
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	45,961	32,250
普通株式の期中平均株式数(株)	11,380	11,380

~注略~

(訂正後)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額(円)	6,560	3,585
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	74,662	40,803
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	74,662	40,803
普通株式の期中平均株式数(株)	11,380	11,380

~注略~

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 3月26日

株式会社シード  
取締役会 御中

清友監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 中野雄介 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 市田知史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社シードの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社シード及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年8月10日に四半期レビュー報告書を提出した。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。